

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	市民文化スポーツ局 スポーツ部 スポーツ振興課
評価対象期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立桃園球場等 6 スポーツ施設	施設類型	目的・機能
	所在地	八幡東区桃園四丁目 1 番	I	— ②
	設置目的	スポーツの普及及び振興を図り、市民の心身の健全な発達及び明るく豊かな市民生活の形成に資する。		
利用料金制		非利用料金制 <input type="checkbox"/> ・ 一部利用料金制 <input type="checkbox"/> ・ 完全利用料金制 <input type="checkbox"/>		
		インセンティブ制 有・ <input type="checkbox"/> 無	ペナルティ制 有・ <input type="checkbox"/> 無	
指定管理者	名 称	株式会社 スピナ		
	所在地	八幡東区平野二丁目 11 番 1 号		
指定管理業務の内容		1 管理運営に関する業務 ・ 受付、使用許可に関する業務（利用調整、許可に係る業務） ・ 清掃、警備、建物等保守点検業務 2 その他管理運営業務 ・ 事業及び収支計画書、各種報告書の提出 ・ 関係機関との連絡調整 ・ 地域や類似施設との連携に関する業務 3 利用促進に関する業務 ・ イベントや広報活動等による利用促進など 4 自主事業 ・ 市民のスポーツ振興に資する事業（スポーツ教室等）等の実施など		
指定期間		平成 27 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日		

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント					
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み					
(1) 施設の設置目的の達成					
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。					
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取り組みがなされ、その効果があったか。					
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。					
④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。					
【所見】					
【利用人員】					
区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	前年度比較
プール(2)	99,145人	97,043人	86,756	58,171人	▲28,585人
庭球場(1)	63,887人	60,541人	63,447	64,017人	570人
野球場(2)	90,649人	68,104人	76,764	61,353人	▲15,411人
弓道場(1)	4,283人	6,183人	6,161	6,485人	324人
運動場(1)	70,120人	62,605人	52,900	41,639人	▲11,261人
計	328,084人	294,476人	286,028	231,665人	▲54,363人
目標	265,500人	267,500人	270,000	275,000人	
要求水準	250,000人	250,000人	250,000	250,000人	
※ ・・・評価対象年度					
※桃園市民プール（屋外）：平成30年9月1日に廃止。					
<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度の利用者数は、平成30年度との比較では、約54,000人の減少となった。 桃園市民プールは屋外プール廃止や、2月からの新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのイベントの中止の影響から、約29,000人の減少となった。 球場、運動場の利用者数は、新型コロナウイルス感染症拡大防止による自粛の影響から平成30年度の利用者数から約15,000人の減少となった。 桃園球場、大谷球場、的場池球場、若松球場、ひびきコスモス運動場の5施設にて効率的な利用調整を行っている。 高齢者向け水泳教室や、子供向けのヒップホップ教室、女性向けのベビーダンス教室、ピラティストレーニング教室等、桃園スタジオを活用して新たな教室を開催することで、利用者数の増加に努めている。 					

(2) 利用者の満足度

- ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。
- ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。
- ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
- ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。
- ⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

【所見】

(回答数 527 人)

【施設利用について】

満足度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度
目標値	73.0%以上	75.0%以上	77.0%以上	80.0%以上
実績(とても良かった・良かった)	92.9% (36.5%・56.4%)	84.6% (33.7%・50.9%)	92.2% (27.9%・64.3%)	94.3% (33.2%・61.1%)

【職員対応について】

満足度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度
目標値	74.0%以上	78.0%以上	82.0%以上	85.0%以上
実績(とても良かった・良かった)	97.9% (39.0%・58.9%)	88.1% (44.6%・43.5%)	96.9% (38.0%・58.9%)	97.9% (39.3%・58.6%)

※ ・・・評価対象年度

- ・令和元年度の施設利用、職員対応の満足度について、共に目標数値を上回り、高い評価を得ている。
- ・利用者の苦情や意見に対する回答を各管理事務所に設置した「お客様の声掲示板」に掲載することで回答の見える化を図っている。
- ・近隣に JICA 九州の施設がある関係で外国人の利用者が多いことから、英語版利用案内等を配布するなど、日本語の分からない外国人の利用者が気軽に利用できるように努めている。

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。

③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

[所見]

【維持管理経費】

(単位:円)

区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	前年度比較
委託料	9,576,663	10,332,961	10,998,990	7,215,080	▲3,783,910
修繕費	11,343,986	9,287,580	9,650,402	11,422,897	1,772,495
光熱水費	21,654,006	23,462,165	23,128,544	19,779,744	▲3,348,800
人件費	65,750,992	66,168,378	66,073,709	65,349,029	▲724,680
その他経費	4,451,309	3,314,017	3,226,347	2,664,921	▲561,426
合計	112,776,956	112,565,101	113,077,992	106,431,671	▲6,646,321

※ ・・・評価対象年度

- ・維持管理経費は、平成30年から、約660万円減少した。
- ・小補修等、業務改善提案により可能な限り自社施工を行い、委託料の削減に努めた。
- ・職員全員が省エネ・コスト削減の意識を持ち電気、消耗品等の節約に努めた。
- ・人件費は、適正要員をフレキシブルに配置することにより、毎年削減に努めているが、令和元年度に関しては約380万円も減少した。
- ・日常清掃、修理、補修、塗装等、可能な限り職員で行い、経費削減、迅速な対応に努めている。

(2) 収入の増加

① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

[所見]

【施設使用料収入】

(単位:円)

区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	前年度比較
プール(2)	10,227,641	9,648,319	11,080,242	9,706,623	▲1,373,619
庭球場(1)	7,213,052	6,931,796	9,038,028	8,933,103	▲104,925
野球場(2)	2,396,489	2,199,015	2,513,946	2,645,028	131,082
弓道場(1)	292,190	427,180	704,640	599,470	▲105,170
運動場(1)	2,009,140	1,937,420	2,783,660	2,733,450	▲50,210
①実収入計	22,138,512	21,143,730	26,120,516	24,617,674	▲1,502,842
②減免額	24,733,642	22,661,126	23,790,404	20,958,443	▲2,831,961
③合計(①+②)	46,872,154	43,804,856	49,910,920	45,576,117	▲4,334,803

※ ・・・評価対象年度

- ・2月からの新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのイベントの中止、自粛の影響から、

令和元年度の実収入は約 150 万円の減額となった。

- ・テニス教室やダンス教室等開催することで、リピーターの増加を図り、使用料収入増加に繋がるよう努めている。
- ・新設した桃園スタジオを活用した、女性向け教室（ピラティストレーニング、ベビードダンス教室等）の開催を推進し、主婦層への『積極的な健康増進活動への参加』を促しており、結果、施設利用者の増加に繋がっている。
- ・桃園球場、大谷球場、的場池球場、若松球場、ひびきコスモス運動場の 5 施設の空き状況を把握し、利用調整を行うことにより、施設利用の効率化や利便性の向上を図っている。
- ・利用スケジュールを記載したホームページをまめに更新することにより、利用者が予約を行いやすい環境を提供した。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。
- ② 職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。
- ③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

[所見]

- ・スポーツ施設の管理運営に熟知した職員の適正配置や、外部講師を招くことで専門的な知識・技術を共有し、職員全体の資質の向上、標準化に努めている。
- ・スタッフを対象とした、「衛生管理責任者講習会」、「防火管理者講習会」、「芝管理講習会」を開催し、スタッフの管理運営能力の向上に努めている。
- ・地域の学校や幼稚園等の地域団体の利用促進を図り、積極的に地域貢献を図っている。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。
- ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。
- ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
- ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
- ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
- ⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。
- ⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

- ・本社グループ企業のコンプライアンス活動による「個人情報取扱い」等を含めた教育、マニュアル整備を実施しており、これらをもとに適正かつ厳正な個人情報管理を行なっている。

- ・ 本社管理スタッフによる「職場安全パトロール」や本部スタッフによる定期パトロールの実施や、他施設での事故報告会、勉強会等で類似の災害や事故の防止に向けた取組みを推進している。
- ・ プール運営管理の手引き（マニュアル）を作成、職員全員に配布し、突然発生するあらゆる事案にも落ち着いて的確な対応ができるよう、日ごろから教育を行っている。

【総合評価】

〔所見〕

- ・ 桃園市民プール（屋外）の廃止や使用料金改正による値上げ、また2月からの新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのイベント中止や自粛により前年度から約54,000人減少した。
- ・ 桃園球場、大谷球場、的場池球場、若松球場、ひびきコスモス運動場の5施設にて効率的な利用調整を行っている。
- ・ 利用者のニーズを重視した新たな教室の開催や英語版利用案内等の配付等、様々利用者数増加策を行っている。
- ・ 光熱水費や消耗品費等の経費削減を行いつつ、設備の改善工事を行うことにより施設の機能充実を図ったことは評価できる。
- ・ 「職場安全パトロール」や本部スタッフによる定期的パトロールの実施、他施設での事故報告会、勉強会等での類似災害・事故未然防止に向けた取組みを行い「安全最優先」に務めている。
- ・ 今後も、施設利用者や各団体等とコミュニケーションを密にし、利用者増、施設の利便性・満足度の向上に努めていただきたい。